

### 第Ⅲ部 祝賀会

#### 祝賀会次第

司会…瀧口 和彦 (組門徒会員)

開会の辞

挨拶

祝辞

乾杯

祝宴

記念品贈呈 (前任職、前坊守へ門徒より記念品贈呈)

贈呈者 早矢仕昌治 (本明寺責任役員)

高田 トヨ (本明寺総代)

謝辞

本田 彰一 (本明寺住職)

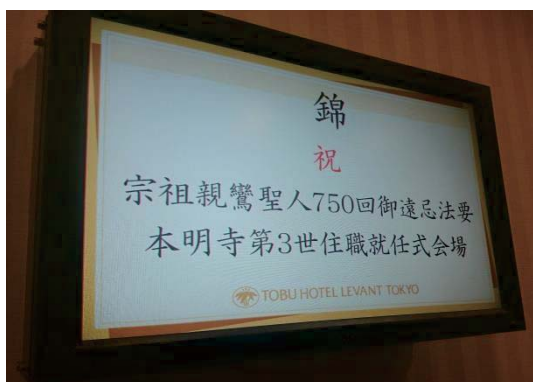
閉会の辞

平山 邦男 (本明寺総代)

宝田 満男 (本明寺総代)

伊與田兼明様 (正見寺住職)

任田 賢治様 (本明寺門徒)



挨拶：宝田満男



祝辞：伊與田兼明氏 (正見寺住職)



乾杯：任田賢治氏



司会：瀧口和彦





謝辞：新住職・新坊守



記念品贈呈：早矢仕から前住職へ



謝辞：平山邦男



記念品贈呈：高田から前坊守へ



三本締め



記念品贈呈：前住職・前坊守の御礼挨拶





真宗大谷派 本明寺 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要 兼 本明寺第三世住職就任式







記念事業 タイムカプセル・桜の苗木



ご門徒への記念品



# 本明寺 由緒沿革

- 1909年(明治42年) 新潟県新潟市曾根の光善寺より 本田鳳賢が家族を伴い上京し、元本所区(現・墨田区)に居住。
- 1910年(明治43年) 8月1日 東京大洪水のため水没。
- 1912年(大正元年) 本所区柳島梅森町に布教場を開設。
- 1923年(大正12年) 9月1日 関東大震災により建物消失。後に現在の太平町に移転。
- 1945年(昭和20年) 3月9日〜10日 太平洋戦争による東京大空襲により、布教所の本堂庫裡を全焼。
- 1948年(昭和23年) 3月10日 宗教法人令により便宜上、単立宗教法人本明寺を設立。
- 1952年(昭和27年) 8月6日 宗教法人法施行にあたり、真宗大谷派と被包括関係を結ぶ。



第3世住職 釋彰一



第2世住職 釋隆見



初世住職 釋賢勝



開基者 釋鳳賢



1967年 宗祖親鸞聖人700回御遠忌法要



2014年 宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要



- 1953年(昭和28年) 5月26日  
宗教法人法により  
宗教法人真宗大谷派本明寺が認可される。  
本田賢勝(鳳賢の長男)が初世住職に就任。
- 1961年(昭和36年) 11月  
本堂再建落慶法要を厳修。
- 1967年(昭和42年) 10月29日  
宗祖親鸞聖人700回御遠忌法要を厳修。
- 1975年(昭和50年) 6月28日  
本田隆見(賢勝の長男)が第二世住職に就任。
- 1977年(昭和52年) 10月3日  
庫裡再建落慶法要を厳修。
- 2006年(平成18年) 6月  
本堂・庫裡再建計画開始。
- 2007年(平成19年) 12月9日  
本堂・庫裡落慶法要を厳修。
- 2014年(平成26年) 6月28日  
本田彰一(隆見の長男)が第三世住職に就任。
- 2014年(平成26年) 10月19日  
宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要を厳修。



2006年 再建計画前の本堂・庫裏



1961年 再建された本堂



2007年 本堂・庫裏落慶



新潟県新潟市曾根光善寺(現在)

# 本明寺の行事

その他	毎月	10月	9月	8月	7月	5月	4月	3月	1月
寺報『明—みよう—』発行 (1月・4月・7月・10月) ホームページ 伝道掲示	聞法会 (5月・10月除く)	おみがきのつどい② 報恩講	秋季彼岸	孟蘭盆 (都外)	孟蘭盆 (都内)	永代経	おみがきのつどい①	花まつり (子ども会)	春季彼岸 修正会・新年会

## 花まつり (子ども会)



## おみがきのつどい

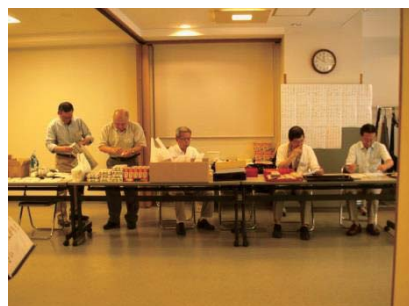


## その他 (伝道掲示板・ホームページ・寺報)

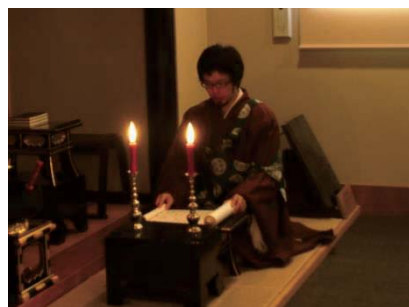




## 永代経



## 報恩講



真宗大谷派 本明寺  
宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要  
兼 本明寺三世住職就任式  
記録集

2015年4月1日発行

編集・発行

真宗大谷派 本明寺

住職 本田 彰一 (釋 彰一)

〒130-0012 東京都墨田区太平2-7-1

T E L 03-3623-1536

F A X 03-3623-1538

E-mail honmyouji@mx1.ttcn.ne.jp

U R L <http://www1.ttcn.ne.jp/honmyouji/>



如来大悲の恩徳は  
身を粉にしても  
報ずべし  
師主知識の恩徳も  
骨をくだきても  
謝すべし

